

NEJM 勉強会 2005 第 6 回 05/4/27 実施 B プリント 担当：歌藤 三希子(mkatou-ky@umin.ac.jp)

Case 6-2005:A 58-Year-Old Man with Esophageal Cancer and Nausea, Vomiting, and Intractable Hiccups (Volume 352: 817-25)

【Problem List】

#1 悪心、嘔吐、しゃっくり

- 入院数ヶ月前に腹部膨満感を自覚し、固形物を嘔吐
- 前の病院に入院時、ピューレ状の食物を摂取し嘔吐

#2 嚥下障害

- 嘔吐の episode 以後、液状のものしか摂取できなくなった
- 前医にて ondansetron、metoclopramide 投与
- 前医にてピューレ状食物の摂取を試みるも嘔吐し、不可能

#3 血液・血清検査所見

BUN 35mg/dl ↑, Cr 2.1mg/dl ↑, Alb 2.2g/dl ↓
フェリチン 34ng/ml ↓, Ht 27.6% ↓, Hb 8.9g/dl ↓,

#4 食道癌・胃粘膜肥厚

- 胸腹部単純 CT にて腹部食道の肥厚
- GF にて食道遠位部に潰瘍、狭窄、粘膜肥厚
- 入院後、経食道 echo 実施し、食道壁が 12mm にも肥厚している（正常は 2-3mm）
- 胃粘膜は 13mm に肥厚
- 生検にて、invasive adenocarcinoma とされた
- また、胃粘膜に伸展しないひだがみられ、胃噴門部に伸展する初期食道癌を疑う所見を呈している

#5 腎所見

- 腹部 echo にて両側の水腎症
- 両側の上部尿路拡張、腎皮質のひ薄化がみられ、慢性の逆流障害を疑わせる

#6 その他の臓器の所見

- MRI にて、肝病変(-)、リンパ節腫大(-)、
- 腹部・腰部単純 CT にて、腸閉塞(-)、胃肝靱帯の異常伸展があった

#7 生活歴

喫煙：タバコ 1 箱/日、酒：ほとんど飲まない、輸血(-)、薬剤(-)、地方マーケット勤務、年配者・犬と同居